

Violent gorillas

概要

ゴリラは社会性のある動物で、普段は群れで平和に生活している。50年間の統計によると、ある地域で生活するゴリラの群れの数が増加すると、シルバーバックが率いるすさまじい衝突が起きることが分かった。また、ゴリラの衝突は、ゴリラ個々の間で起きるものではなく、一つの地域内の群れ同士で引き起こされることが分かった。1970年にアフリカでゴリラは絶滅の危機にあるとされた。我々は通常、動物の個体数は食べ物、環境、狩りなどの要因で考える。しかし、ゴリラの場合、その振る舞いや社会構造を考慮しなければならない。そこで、1968年から2017年にルワンダで400頭のゴリラを調査したところ、ルワンダのある地域に10の群れが集まると衝突は3倍、幼児の死は5倍、頭数は半分になった。このようにゴリラの群れが集まると、群れの間での衝突が増加することが分かった。

語彙リスト

- ・ dominant 支配的な
- ・ perish 死ぬ
- ・ feud 争い
- ・ silverback シルバーバック
- ・ dissolution 解散
- ・ logging 木材の切り出し

その他

ゴリラは、1頭のオトナオスと複数のオトナメスの社会構造が一般的であり、10頭～15頭ぐらいの集団で生活している。そこでのゴリラのコミュニケーションは、「覗き込み行動」と呼ばれるものを行っている。顔と顔を20センチほど近づけてお互いをじっと見ることで、挨拶などを交わしている。人間も人の顔色を見て相手の気持ちを考えるが、ゴリラの場合言葉よりも古いコミュニケーションの手段であるといえる。

出典：https://yumenavi.info/lecture_sp.aspx?%241&GNKCD=g004854